指定管理業務評価表

施設名	小牧市スポーツ公園運動施設		
対象年度	平成２４年度	評価担当部	小牧市教育委員会
指定管理者名	公益財団法人小牧市体育協会		
指定期間	平成２２年４月１日　～　平成２６年３月３１日		
職員体制	正規職員：３人　　臨時職員：１２人　　合計：１５人		

１．　利用実績

（１）利用者数

		ﾒｲﾝｱﾘｰﾅ	ｻﾌﾞｱﾘｰﾅ	ｻｯｶｰ場	ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞｼﾞﾑ棟	ﾌｨｯﾄﾈｽ	会議室(和室含む)	ｼﾞｮｷﾞﾝｸﾞｺｰｽ
４月	利用件数	320	345	102	7,032	11	171	88
	利用人数	8,506	5,052	5,888	7,032	217	4,214	88
５月	利用件数	222	274	106	7,350	12	237	59
	利用人数	78,740	19,327	6,917	7,350	187	11,237	59
６月	利用件数	224	231	111	7,041	14	278	31
	利用人数	40,202	7,158	4,722	7,041	245	6,438	31
７月	利用件数	211	361	131	7,466	13	230	53
	利用人数	28,854	19,816	14,989	7,466	165	6,804	53
８月	利用件数	304	305	158	7,237	14	175	70
	利用人数	13,906	9,554	6,671	7,237	274	9,933	70
９月	利用件数	283	285	100	7,178	15	202	61
	利用人数	9,146	5,240	7,191	7,178	245	4,774	61
１０月	利用件数	224	270	93	7,296	16	182	31
	利用人数	31,908	8,998	5,582	7,296	217	5,000	31
１１月	利用件数	310	257	98	6,750	11	207	69
	利用人数	16,389	9,729	9,759	6,750	200	11,585	69

１２月	利用件数	275	189	73	5,592	9	199	63
	利用人数	14,312	4,419	4,025	5,592	152	4,007	63
１月	利用件数	316	260	90	6,722	13	208	104
	利用人数	18,202	19,066	7,344	6,722	265	5,791	104
２月	利用件数	285	205	81	6,917	14	191	105
	利用人数	21,034	4,553	5,096	6,917	236	4,749	105
３月	利用件数	447	399	131	7,588	15	211	63
	利用人数	20,204	17,007	9,602	7,588	241	11,934	63
合計	利用件数	3,421	3,381	1,274	84,169	157	2,491	797
	利用人数	301,403	129,919	87,786	84,169	2,644	86,466	797

２．　利用者アンケート

実施期間	平成 24 年 11 月 1 日～平成 24 年 11 月 30 日	回答数	58
利用者の主な意見及び対応状況	土日祝日の施設の予約や器具等の破損、洗面台等の衛生面など設備に関する意見が多数あり、早急に改善できるものから対応し、効率的な管理運営と更なる市民サービスの向上を図っている。		

３．　収支の実績

（単位：千円）

		２３年度 (前年決算額)	２４年度 (現年決算額)	２５年度 (翌年予算額)	備　考 （主な内訳、増減要因）
収入	指定管理料	202,068	201,724	217,063	
	事業収入				
	合計	202,068	201,724	217,063	
支出	人件費	39,817	36,097	41,105	
	需用費	9,598	11,376	13,699	消耗品費・燃料費等
	光熱水費	48,523	49,907	52,500	電気・ガス・水道料金
	役務費	326	310	400	通信運搬費
	委託費	92,608	92,969	97,403	設備運転監視・清掃等
	使用料	11,041	10,967	11,656	下水道使用、PC 借上料等
	原材料費	155	98	300	
	合計	202,068	201,724	217,063	

４．　評価

項目	市の評価
運営業務	・法令等の遵守、各種帳簿等の整理、個人情報の取扱は適切に実施されている。 ・利用者の増加・稼働率の向上のため窓口での接客対応など職員の教育・指導を徹底すること。
維持管理業務	・施設、設備の点検、保守などは確実に実施されている。
自主事業	・各種競技の教室・大会を実施しているが、新しい競技の教室を増やすなど多様な市民のニーズに対応し、利用者の増加に努めること。
サービスの質	・接客対応等について利用者の満足につながる対応を心がけること。
収支状況及び経費節減	・平日の日中の利用者が増えるような取り組みを実施すること。
その他	・今後も適宜市と協議をし、連携を深めること。